

りょうCaféのご案内

1. りょうCafé

議会報告会や市議会体験ゲームなど、コロナ禍の中で自粛していましたが、順次再開いたします。対面式(公民館)と非対面式(Zoom)との両方を実施していきます。日程や場所が決まり次第、公式ホームページやSNSなどでお知らせいたします。お気軽にご参加ください。



2. りょうCafé芝山団地商店街

●基本は毎週水曜日の10時から正午

コロナ禍の中でお休みしていましたが再開します。船橋市政へのご質問やご意見など、市民の皆さんの生の声をお聞かせください!石川りょうと個別に話したいという方に向けたりょうCaféです。

*参加費無料。途中入退室はいつでも可能です。お気軽にご参加ください!
*日時等の変更の可能性があるため、石川りょう公式サイト、SNS等で必ずご確認ください。

プロフィール

【学歴】

栄光幼稚園、芝山西小学校、芝山中学校、八千代高校、立教大学法学部国際比較法学科、英国国立マンチェスター大学院、早稲田大学公共経営大学院

【職歴】

青年海外協力隊、国際連合インターン、開発コンサルタント、外務省(外交官)を経て、船橋市議会議員(健康福祉委員長)

【資格など】

法学士、開発学修士、公共経営修士、TOEFL(CBT) 257点(TOEIC 915点相当)、仏語検定3級、プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)、政策学校「一新塾」32期生、ビール検定2級、ふなばし市民大学校平成26年度ボランティア入門学科



▲健康福祉委員会の様子

連絡先

ご意見やご質問、ご要望を何でもお寄せください!

石川りょう公式サイト
<http://www.ishikawaryo.net>



もやっています。

発行者: 石川亮
住所: 船橋市芝山3-26-1
携帯電話: 080-6575-4711
固定電話: 047-463-2690
メール: info@ishikawaryo.net

この通信でご紹介できている活動内容は、ほんの一部です。詳細な内容やその他の活動は、石川りょうのブログを是非ご覧ください。

石川りょう アメブロ で検索! または、QRコードはこちら →



コロナ後の船橋市 ~これまでの前提が崩れる~

人類がこれまでに経験したことのない新型コロナウイルス感染症による未曾有の危機は、世界を大きく揺るがしました。日本では、これまでのところ、第1波をなんとか抑えることができました。しかし、第2波は必ず来るものと思って対策を講じておく必要があると考えます。

新型コロナウイルス感染症は恐ろしい病気であり、撲滅を目指さなければなりません。しかし同時に、この危機を逆手にとって、我々の発展・進化につなげていくべきであるとも考えています。

船橋市も例外ではありません。経済が大打撃を受けることが予想されています。これまで船橋市は、市民の皆さんや市内企業からの税収により安定した市政運営を行ってこれられました。本市の産業はサービス業を中心に発展していますが、大きな打撃を受けました。つまり、大幅な税収減が予想されるのです。

今後は人口もどうなるかわかりません。感染リスクの高い都会での生活を避けるために、また、職場では在宅ワークが進んだことにより、若者を中心として意識の変容が起こっており、都会から地方への移住が進みそうな傾向があります。そうすると、船橋市の「都心に近い地理的優位性」は

低減します。あと10年近く人口増加が続くという予想も見直しが必要になってしまいかもかもしれません。

つまり、船橋市がこれまで見込んできた税収増と人口増という前提が大きく崩れる可能性があるのです。これまでと同様の考え方では、コロナ後の時代に対応することはできません。船橋市は2021年3月に現行の総合計画(船橋市を運営するにあたっての最上位計画)が期限を迎えます。現在、新しい総合計画(2021年度から30年度までの10年間)を策定中ですが、外部の有識者による審議会は3月から開催できていない状況です。スケジュールありきで来年の4月までに無理やり策定するのではなく、時間をかけてしっかりと、コロナ後の船橋市の新しい戦略を考えていくべきだと私は考えます。(⇒次ページへ続く)



➡ICTやオンラインの活用という社会のデジタル化は間違いなく促進されます。船橋市もこの波に乗り遅れてはなりません。しかし、私が何より大切だと考えることは、自治体の使命である「住民の生命と財産を守ること」です。医療や保健所の体制の拡充、危機管理体制の見直しはもちろんですが、新型コロナを生み出した自然との共生

や生物多様性の尊重といった「持続可能な船橋」という視点も大切だと考えます。

船橋市議会には、総合計画について専門的に調査をする特別委員会が設置されています。私は今後、この特別委員会や本会議などで、新しい総合計画について研究し、上述した点などについて、執行部と積極的に議論してまいります。

学校での ICT 機器やオンラインの活用を！

コロナ危機で学校も大きな影響を受けました。約3か月という長期間にわたって船橋市立学校は休校となりました。この間に、私のもとにたくさん寄せられたのは、「船橋市でもオンライン授業を実施してほしい」という児童生徒や保護者からの声です。船橋市教育委員会は、授業動画の配信はしていたのですが、児童生徒と教師による双方向のコミュニケーションを取るオンラインの活用はできていませんでした。新型コロナの第2波はいつ来るかわかりません。私は、一刻も早く導入すべきであると議会で提言をしました。

市教委も採用したいと考えて努力はしているのですが、現時点で4点の課題があること、そして、オンライン整備に向けた現時点での計画内容がわかりました。

【船橋市の4点の課題】

- 1 全家庭の通信環境が整備されていないこと (約8.2%の世帯に通信環境が整っていない)
- 2 学習用端末が全ての児童生徒に備わっていないこと (PCやタブレットをもっていない児童生徒は約19%)
- 3 現在整備されている校内LANでは通信速度が不足していること
- 4 教員の情報活用能力に差があること

【オンライン整備の現時点での計画】

- 1 令和3年2月までに、全ての児童生徒が一斉にインターネットを使用できる通信環境(校内LAN)が全校で整備されます。
- 2 令和4年度末までに、本市の全ての児童生徒に一人一台の端末が貸与されます。
- 3 教員のITリテラシーに関しては、研修や実践を通じて、急ピッチで進めている状況

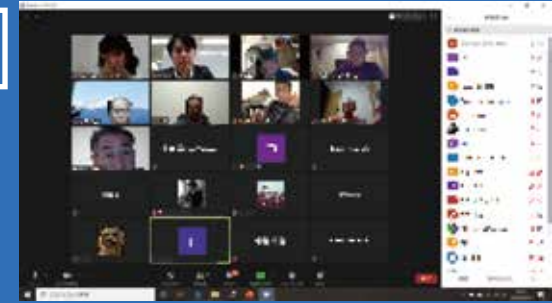
私立学校では、すでにオンライン授業は実施されています。このままでは公立と私立の学校の差が大きく開いてしまいます。もちろん、公教育は誰一人取り残すわけにはいきません。しかし「全員揃ってから始める」ではいつになるかわかりません。このままでは公立学校の信頼が揺らいでしまいます。小学校6年生という次年度がない児童や、中学校3年生という受験を控えた生徒からでも、できるところから順次始めていくべきです。現時点での船橋市の計画よりも早く、学校のオンライン化、そして、ICT機器の活用を進められるように、私はこれからも働きかけ続けてまいります。



りょう Café Zoom の実践

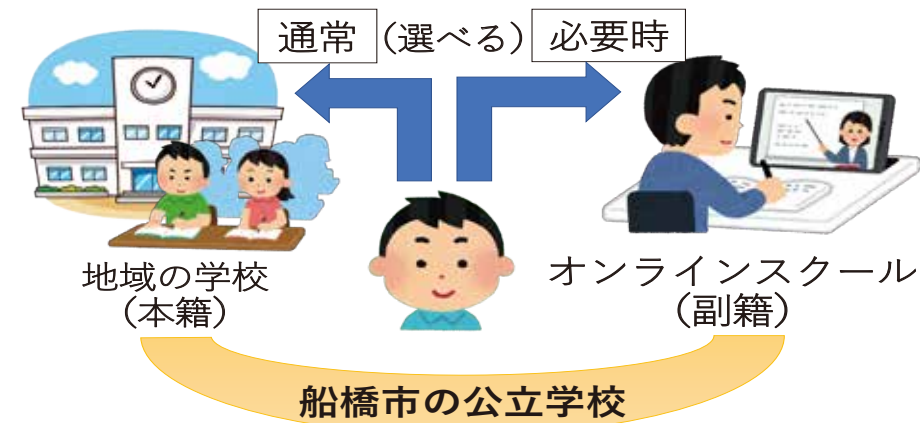
社会のデジタル化や学校教育のオンライン化について述べてきましたが、私自身も実践する必要があります。

これまでは公民館で、対面式で実施していた「りょうCafé」というタウンミーティングを、Web会議ツールのZoomを使って実施することを始めました。評判は上々です。今までは「公民館まで行けなかった」「時間が合わなかった」という方にもご参加いただけるようになりました。何より良かったのは、ルールを定めることによって大人数でも効率的に議論ができることです。私が司会進行をすること。発言のある方はサインを表示してもらう



こと。私に指名された人だけが発言できること。これらの簡単な決まりによって、顔を合わせて議論するよりも短時間で効果的な議論ができるのです。船橋市も、公共施設の利用が再開され始めていきますが、今後の「りょうCafé」は、①Zoomによるオンラインと、②公民館での対面式との2本立てで実施していこうと考えています。お気軽にご参加ください。

オンラインスクール構想



ICT機器やオンラインの活用後の未来に、私は「船橋市立のオンラインスクール構想」を抱いています。新型コロナの第2波以降の備えという側面のみならず、増加している学習障害や不登校の児童生徒のための公立のオンラインスクールを設置するのです。児童生徒の本籍は地域の学校にあるのですが、副籍としてオンライン

スクールに登録できる。基本は地域の学校に通学しますが、必要な時や希望する時にはオンラインスクールの授業を選択でき、なおかつ出席扱いとする。現代は、画一的に何でもできる時代ではありません。一人ひとりの児童生徒に合った学びのスタイルを実現することも公教育の役割であると考えます。